

省エネ住宅のプログラム型プロジェクトにおけるBELS評価書記載値の使用

○専用の削減活動リストに、BELS評価書から、下記の通り記載値を転記入力して下さい

※1: BELS評価書の記載値を使用せず「太陽光による削減量の特出し算定」をする場合、両「太陽光による削減量」欄に実測値(同じ値)を入力。 ※2: 排出係数として都市ガス供給会社の提供値を使用する場合、自動表示されない

プロジェクト排出量の算定													プロジェクト 排出量 合計 (tCO2/年)
系統電力使用量 (=買電量) (kWh/年)※1	太陽光による 削減量の特出し算定	太陽光による 削減量(BELS) (kWh/年)※1	太陽光による 削減量(実測) (kWh/年)	ガス使用による エネルギー使用量 (GJ/年)	灯油使用による エネルギー使用量 (GJ/年)	系統電力の 排出係数の 選択	系統電力の 排出係数 (kg-CO2/kWh)	ガスの 排出係数の 選択	ガスの 排出係数 ※2 (tCO2/kWh)	系統電力使用 による排出量 (tCO2/年)	ガス使用 による排出量 (tCO2/年)	灯油使用 による排出量 (tCO2/年)	
2,046	する	673	683	42,469	0,000	全電源	0.516	都市ガス(デフォルト)	0.0513	1.051	2.179	0.000	3.229
2,046	しない			42,469	0,000	全電源	0.516	都市ガス(提供値)	0.0510	1.056	2.166	0.000	3.222
										#VALUE!	#VALUE!	0.000	#VALUE!
										#VALUE!	#VALUE!	0.000	#VALUE!

000-00-2018-000515

評価結果(詳細)							
■設備毎の単位面積当たりの一次エネルギー消費量について (MJ/㎡・年)							
非住宅部分 (※5)	設備項目	空調設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						
住戸部分	設備項目	冷房設備	暖房設備	換気設備	照明設備	給湯設備	太陽光発電等 による削減量
	設計値	50.27	116.05	38.17	90.40	321.59	269.82
	基準値	46.92	111.45	37.82	89.63	208.95	
共同住宅等の 共用部分(※6)	設備項目	空調設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						

(※5) 非住宅の評価手法がモデル建物法の場合は、「設計値」にBELS値が表示されます。また、「設備項目」に「エネルギー利用効率化設備」とあるのは「太陽光発電設備」となります。
(※6) 共同住宅等の共用部分及び非住宅部分の評価手法が通常の計算法の場合、共同住宅の共用部分は、非住宅部分に含まれます。

別所で記入済みのデフォルト値が自動転記表示される
(都市ガスの排出係数として供給会社の提供値を利用する場合は手入力)

プロジェクト排出量が自動計算・表示される

参考情報 BELS評価書から転記入力 (MJはGJに換算)

■二次エネルギー消費量に関する項目(※7)			
・設計二次エネルギー消費量			
太陽光発電による削減量(※8):	673 kWh/年	コージェネレーションによる削減量(※9):	2,646 kWh/年
電力(買電量)(※10):	2,046 kWh/年	ガス:	42,469 MJ/年
		灯油:	0 MJ/年
・基準二次エネルギー消費量(※11)			
電力:	4,543 kWh/年	ガス:	35,963 MJ/年
		灯油:	0 MJ/年

省エネ住宅のプログラム型プロジェクト専用の排出削減活動リスト(エクセルファイル)をご希望の方は、help@jcre.jp までお問い合わせ下さい。

(※7) 申請対象部分に住宅部分(共用部分を除く)が含まれ、かつWEBプログラムVer.2.4.2以降の計算結果が提出された場合にのみ表示されます。
WEBプログラムとは、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人建築研究所が公開している「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」をいいます。
(※8) 太陽光発電による発電量のうち、売電を除く自家消費量をいいます。
(※9) コージェネレーションによる発電量をいいます。
(※10) 総電力から、(※8)及び(※9)を差し引いた電力をいいます。
(※11) 基準二次エネルギー消費量は、「クレジット制度方法論 番号 EN-S-039 Ver.20」省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修に基づき算出しています。



省エネ住宅のプログラム型プロジェクトにおけるBELS評価書記載値の使用

○専用の削減活動リストに、BELS評価書から、下記の通り記載値を転記入力して下さい

いので手入力すること。

※3: BELS評価書の記載値を使用する場合、ベースライン排出量とプロジェクト排出量の差に0.9を乗じている。

ベースライン排出量の算定						ベースライン 排出量 合計 (tCO2/年)	排出削減量 (年間) (tCO2/年) ※3	排出削減量 (申請期間分) (tCO2/期間)	太陽光による 排出削減量 (申請期間分) (tCO2/期間)
ベースライン主要排出量の算定									
電力使用量 (kWh/年)	ガス使用による エネルギー使用量 (GJ/年)	灯油使用による エネルギー使用量 (GJ/年)	系統電力使用 による排出量 (tCO2/年)	ガス使用 による排出量 (tCO2/年)	灯油使用 による排出量 (tCO2/年)				
4,543	35,963	0.000	2,344	1,845	0.000	4,189	0.863	0.408	0.167
4,543	35,963	0.000	2,344	1,834	0.000	4,178	0.851	0.494	0.000
			#VALUE!	#VALUE!	0.000	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
			#VALUE!	#VALUE!	0.000	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

評価結果(詳細)							
■設備毎の単位面積当たりの一次エネルギー消費量について (MJ/㎡・年)							
非住宅部分 (※5)	設備項目	空調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						
住戸部分	設備項目	冷房設備	暖房設備	換気設備	照明設備	給湯設備	太陽光発電等 による削減量
	設計値	50.27	116.05	38.17	90.40	321.59	269.82
	基準値	46.92	111.45	37.82	89.63	208.95	
共同住宅等の 共用部分(※6)	設備項目	空調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						

(※5) 非住宅の評価手法がモデル建物法の場合は、「設計値」にBELS値が表示されます。また、「設備項目」に「エネルギー利用効率化設備」とあるのは「太陽光発電設備」となります。
 (※6) 共同住宅等の共用部分及び非住宅部分の評価手法が通常の計算法の場合、共同住宅の共用部分は、非住宅部分に含まれます。

参考情報

BELS評価書から転記入力 (MJはGJに換算)

■二次エネルギー消費量に関する項目(※7)

・設計二次エネルギー消費量

太陽光発電による削減量(※8): 673 kWh/年 コージェネレーションによる削減量(※9): 2,646 kWh/年

電力(買電量)(※10): 2,046 kWh/年 ガス: 42,469 MJ/年 灯油: 0 MJ/年

・基準二次エネルギー消費量(※11)

電力: 4,543 kWh/年 ガス: 35,963 MJ/年 灯油: 0 MJ/年

(※7) 申請対象部分に住宅部分(共用部分を除く)が含まれ、かつWEBプログラムVer.2.4.2以降の計算結果が提出された場合にのみ表示されます。

WEBプログラムとは、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人建築研究所が公開している「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」をいいます。

(※8) 太陽光発電による発電量のうち、売電を除く自家消費量をいいます。

(※9) コージェネレーションによる発電量をいいます。

(※10) 総電力から、(※8)及び(※9)を差し引いた電力をいいます。

(※11) 基準二次エネルギー消費量は、「クレジット制度方法論」番号EN-S-039 Ver.2.0「省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修」に基づき算出しています。

ベースライン排出量、
排出削減量(年間)、
排出削減量(申請期
間分)が自動計算・
表示(BELS評価書
を使用する場合、削減量
は自動的に1割減)

省エネ住宅のプログラム型プロジェクト専用の
排出削減活動リスト(エクセルファイル)を
ご希望の方は、help@jcre.jp まで
お問い合わせ下さい。

